

## FDを考える

大学教育開発研究センター長 濱口 哲

平成19年4月の大学設置基準の改定において、大学院についてFDを行うことが義務化されたのに続いて、明年4月には学士課程についても義務化が法令化される情勢になっています。本学においても近年FD活動が活性化されていることは事実ですが、反面、FDのイメージが充分共通認識化されていない現状で、FDと称するものをもっともかく実施するという状況が出来している部分もあるようにも見えます。

本センターは、ここ数年、教員研修プログラムとしてFDの構造化を図ることを目的に、国内外の状況について調査研究を進めるとともに、さまざまなFDの可能性を試行してきました。ワークショップやコーチングの研究会の開催、具体的成果（シラバスのガイドライン）を掲げたワークショップの実施、また、平成18年度の新任教員研修では、学長と理事、部長による本学の理念・目標についてのガイダンスに加えて、「教授学習のあり方および役割、目標達成型学習のための教育計画についての理解と、実践力の向上を図る」ことを目的とした「学習教授ワークショップ」を行いました。また、全学的なFDの組織化を念頭において、「FDを考えるFD」をワークショップ形式で開催し、その成果に基づいて、全学FD協議会の設置を進めています。本学でさらに効果的なFDを組織的に実施するために、今日、何故FDの実施が喧しく言われるようになったかを改めて整理しておく必要があるかと思えます。ここでは、大学の教員組織の変化と大学教育そのものの変化の2つの観点からのFDの必要性を提起しておこうと思えます。

講座制の弊害が指摘され、大講座制が導入されて以降、講座が果たしてきた（良い意味での）後継者養成機能を、必ずしも大講座が代行してこなかった面があります。その文脈で、この春、大学教員の職名および職務の変更が行われたことは象徴的で、大学教員組織は、極めてフラットなものとなり、制度が実態を追認する形となりました。各大学は、改めてそれぞれの工夫で教員の組織化を行う必要があることは言うまでもありませんが、現状でそれが充分に行われているとは言いがたいと思われます。その結果、大学教員の文化・技能の伝承という機能を、講座に代わって果たすべき組織が存在しない状況が生じ、それが、今日FDの組織的展開の重要性が強調される一つの要因と考えられます。教育がそもそも組織的な取り組みであるとする、教育組織の実質的な再構築を図る手段の一つがFDと言えなくもありません。講座制の崩壊が、大学に、教育の質保証の一貫としてFDを意識的に行う必要性が生じさせたということが出来るかもしれません。

FDの必要性のもう一つの要因として、大学教育の実体の急激な変革があります。

大学教育は世界的な規模で大きな質的変革点を迎えているように思えます。「TeachingからLearning」へ、「学習成果に基づく学位の質保証」というようなことが叫ばれ、学習成果に即した教育のPDCAサイクルの確立が求められています。一方で「学習成果」「コンピテンシー」「学習の場としての授業」「生涯学習能力」といった言葉に慣れている教員はむしろ少数だという実態があります。「生涯学習」という言葉でまず第1に公開講座を連想する教員は少なくないのではないかと思います。しかし、大学の制度にはすでに学習成果の考え方は導入されており、

例えば、本学のシラバスのガイドラインはそのような考え方に基づいています。したがって、そうした文脈での制度改革が進んでいる中で、改革を内実あるものにするために、教員の意識改革、その観点での資質向上を図ることは急務となっています。

つまり、世界的な大学教育改革が、外形的には医歯学の教育課程、或いは技術者養成プログラムJABEEとして本学の改革の中にも反映されている中で、それを担うべき教員研修はいうまでもなく喫緊の課題であり、それが、FDが求められるもう一つの事情ということが出来ます。その観点から見ると、「組織的FD」は大学教育に関する理念に貫かれたものであることが要求されます。その観点で、大学の自治、学問の自由を標榜する立場のもとで、一貫性のあるFDの方針を定めることは、大学執行部の重大な使命ということが出来るのかも知れません。

本学は、今、新学士課程教育確立のための本丸とも言える「主専攻プログラム化」に取り組んでいます。その改革を単なる制度改革、あるいは作文上のものに終わらせないためにも、教学の理念に貫かれた組織的な構造化されたFDの実施体制を構築していく必要があると考えています。全学教育機構設置以降、とかく姿が見えにくいと言われている大学教育開発研究センターですが、その英文名（Research Institute for Faculty Development）に相応しい貢献の実を挙げたいと思います。